⑩ 日本国特許庁(JP)

①実用新案出願公開

[®] 公開実用新案公報(U)

昭63-51560

@Int.Cl.4	識別記号	庁内整理番号	每公開 昭和63年(1988)4月7	日
H 02 K 9/06 5/02 5/18 5/20		E-6435-5H 6821-5H 6821-5H 6821-5H	審査請求 未請求 (全2頁	()

図考案の名称 全閉外扇形回転電機

②実 顧 昭61-144993

②出 額 昭61(1986)9月19日

四考 塞 者 中 Ш 福岡県北九州市小倉北区大手町12番1号 株式会社安川電 機製作所小倉工場内 福岡県北九州市小倉北区大手町12番1号 株式会社安川電 四考 案 者 西 敏 夫 機製作所小倉工場内 砂考 案 者 今 村 扶 容 福岡県北九州市小倉北区大手町12番1号 株式会社安川電 機製作所小倉工場内 砂考 案 者 浅 井 福岡県北九州市小倉北区大手町12番1号 株式会社安川電 秀 幸 **模製作所小倉工場内**

①出 願 人 株式会社安川電機製作 所 福岡県北九州市八幡西区大字藤田2346番地

⑩代 理 人 弁理士 今井 義博

砂実用新案登録請求の範囲

- 1 内径孔を囲んで軸方向の中空孔を複数個そなえアルミニウムで押し出し成形されたフレームと、このフレームの内径孔に嵌合させた固定子鉄心と、前記フレーム両端に嵌合して回転子を支承するブラケットと、一方のブラケットの外側に設け前記フレームの中空孔に通風する外部冷却フアンをそなえたことを特徴とする全閉外扇形回転電機。
- 2 前記フレームが外周面に冷却フインを一体に アルミニウムの押し出しにより設けている実用 新案登録請求の範囲第1項記載の全閉外扇形回

転電機。

図面の簡単な説明

第1図は本案実施例の上半分を示す側断面図、 第2図はフレームの断面を示す上半部正面図、第 3図は従来例を示す上半部側断面図、第4図は従 来の固定子コアを示す上半部正面図である。

3は内部フアン、4は固定子鉄心、6はフレーム、8は中空孔、9・10はブラケット、12は外部冷却フアン、13はフアンカバー、33は固定子鉄心、35は打抜孔、36は固定子コアである。





